



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第8号

2013年7月発行

平成25年度市民公開講座のご案内

市立池田病院では『これだけは知っておこう！！ 病気・治療のまめ知識』と題し、市民公開講座を開催しています。40分程の講座で無料となりますので、お気軽にご参加下さい。

開催日	テーマ	会場
5/22 終了	消化器外科 福崎医師 13:30～ 「よく知ればこわくない？大腸癌」	東館2階 講堂
6/26 終了	消化器内科 今井院長 13:30～ 「脂肪肝はこわい…脂肪肝から肝硬変・肝癌」	東館2階 講堂
7/25 (木)	神経内科 山下医師 13:30～ 「パーキンソン病のおしゃべりとダンスセラピーのつどい」	東館2階 講堂
8/28 (水)	腎臓内科 梶原医師 15:00～ 「いざという時の為に治療の差し控えについて考えませんか？」	東館2階 会議室3
9/4 (水)	血液内科 森山医師 13:30～ 「血液疾患と言われたら」	東館2階 会議室3
10/24 (木)	麻酔科 西島医師 13:30～ 「緩和ケアとは？市立池田病院緩和ケアチームの紹介」	東館2階 会議室3
11/22 (金)	泌尿器科 西村医師 13:30～ 「前立腺癌の早期診断治療のために」	東館2階 会議室3
12/17 (火)	呼吸器内科 橋本医師 13:30～ 「風邪とインフルエンザはどう違う？」	東館2階 会議室3
1/17 (金)	歯科口腔外科 大西医師 13:30～ 「口から始まる健康づくり」	東館2階 会議室3
2/28 (金)	整形外科 大河内医師 13:30～ 「腰痛について」	東館2階 会議室3

患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

神経内科の紹介

神経内科って聞きなれないし、似た名前の科もあってわかりにくいですね。そこで、次のようにご理解ください。

- ・神経内科＝脳や脊髄、末梢神経、筋肉に起こる病気をみます。
- ・神経科、心療内科＝うつ病や不安神経症など精神科領域の心の病気をみます。

次のような症状があれば、脳や脊髄、あるいは末梢神経、筋肉の病気かもしれません。神経内科での治療が必要かもしれません！検査によって原因がわかれば、薬で良くなることもあります。一度かかりつけ医にご相談を！！

- ・手や足に力が入らない
- ・手や足がしびれる
- ・しゃべりにくい、飲み込みにくい
- ・顔や手足の筋肉がぴくぴくする
- ・物忘れが気になる
- ・歩きにくい、よく転倒する
- ・手足がふるえる
- ・字が書きにくい
- ・物が二重に見える
- ・意識が時々途切れる

Q:どんな検査をするのですか？

A：病気の原因や程度を知るために、症状に応じていくつかの検査をします。

- ・血液検査、場合によっては髄液検査
- ・CT、MRI/MRA
- ・脳波
- ・脳血流シンチ（SPECT）
- ・神経伝導検査、筋電図

Q:認知症も、診てもらえますか？

A：認知症は脳の病気です。本当に認知症なのか、原因はどのような病気なのかについて診断します。考えがまとまらない、性格が変わった、変な行動をする、意欲がない・・・といった症状の原因が認知症であることもあります。気になれば、一度、受診してみてください。

ただし、次のような症状であれば、神経科か心療内科を受診ください。

- ・眠れない
- ・いろいろな事が気になって仕方がない
- ・不安でドキドキする
- ・いらいらする
- ・気持ちが落ち込む
- ・急にパニックになる



当院では、診療所との連携を進めています。初診の患者様は、一度かかりつけ医にご相談下さい。

診療所（かかりつけ医）の先生より、地域医療連携室にご予約をいただき、紹介状を持参の上ご来院下さい。

口腔ケアセンターについて

当院の口腔ケアセンター（写真1）は入院、外来患者様の口腔ケアを目的として、平成16年に本邦で始めて設置されました。

ここでは歯科医師、歯科衛生士を中心として、医師、看護師などと連携して患者様の口腔管理を行っています。



写真1



図1

口の中の細菌は非常に多く、体の中で最も細菌の密度が高い部位です。現在ではこの細菌が様々な全身疾患を引き起こすことが知られており、これらの疾患の予防には口腔ケアが非常に重要であることがわかってきました（図1）

口腔ケアセンターの主な業務

★周術期患者様に対する口腔ケア

全身麻酔下での手術においては、口腔内常在菌が気道の中に入ることにより、術後の誤嚥性肺炎・発熱を起こすことがあります。手術前から口腔内のケアを行うことによりこれらの問題を防ぐことができます。

★内科的疾患などにて入院中の患者様に対する口腔ケア

いろいろな疾患で全身状態が低下している、また食べる機能、呼吸機能が低下している患者様は肺炎などが発症しやすいことが知られています。口腔内環境を整えて、食べる機能を回復することが、疾患の治療や全身状態の改善につながり、肺炎などを予防できます。

★抗がん剤治療を受けられる患者様に対する口腔ケア

悪性腫瘍の治療法として、抗がん剤治療や放射線治療が行われることがあります。これらの治療法のお口の中の副作用としては、口内炎、真菌感染症、口腔乾燥症、口腔内出血などがあります。特に口内炎は広範囲に広がると強い疼痛のため食事をとることが困難となります。当センターでは、抗がん剤治療が円滑に行えるように口腔ケアを実施しております。

★糖尿病教育入院患者様への口腔衛生指導

近年の研究により、糖尿病とお口の状態は非常に関係が深いことがわかってきました。糖尿病になると歯周病などが進みやすいだけでなく、口の中に問題があると糖尿病が悪化しやすいことが明らかになりました。そのため糖尿病教育入院時には口腔内ケアの指導などを行い、継続的なかかりつけ歯科での治療をお勧めしております。

夏の院内行事 ご案内



&



8月12日(月)
15～16時

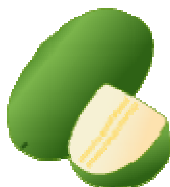
東館2階講堂にて

楽しい出店が待っていますよ！



夏の食材！！

とうがん



冬瓜は夏が旬の食材ですが、日持ちがよく冷暗所で保存すれば冬まで貯蔵できることから、この名がつけられたそうです。栄養管理科では果肉がやわらかいので、赤ちゃんから高齢者まで多くの患者様の食事に使っています。

栄養 と 働き

ペースト状
離乳食



あんかけ
常食／治療食全般



95%以上が水分のローカロリー野菜で、ビタミンCを含みます。カリウムも比較的多く、利尿作用があります。ダイエット、夏バテの予防に効果的な食材と言えます。

選び方

持った時に重みがあり、表面が白い粉でおおわれているものが良品。カットされたものは切り口のみずみずしさや変色の有無をチェックしましょう。

保存方法

丸ごとのものは風通しのよい冷暗所で保存。薄切りや一口大などの適当なサイズにカットして、保存用袋などに入れて、冷凍保存も可能です。使う時は半解凍の状態です。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、ご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会